

西宮市長 今村 岳司 殿  
 西宮市教育委員会 委員長 中原 朗裕 殿  
 宗教法人越木岩神社 宮司 飯森 隆年 殿  
 株式会社創建 代表取締役 吉村 孝文 殿

イワクラ（磐座）学会 会長  
 京都造形芸術大学名誉教授 渡辺豊和

## 嘆 願 書

越木岩神社隣接地西宮市甕岩町6番1、12筆において、株式会社創建による大規模開発（敷地面積23,443.48㎡、地下1階地上5階建、291戸）が進められております。

越木岩神社の社叢は、昭和49年3月29日に兵庫県の天然記念物に指定されています。越木岩神社並びに地域住民は自然環境・文化財保護の観点から天然記念物の社叢を保全するために、建築主（株式会社創建）及び建築主代理人（株式会社トータルランドプランニング）に対して、大規模開発及び大規模マンションが建設されることによる環境の変化を危惧し、考えられる環境の変化についての説明と、現状調査についての協力を求めてきたと聞き及んでおります。

その中、越木岩神社並びに地域住民はマンション建設に反対している訳ではなく、天然記念物としての社叢をどのように近隣住民・越木岩神社・行政・開発業者として守っていくか、そのためには互いの協力が必要であると考え、建築主に対して計画を配慮して頂きたいこと、また、いずれ住まわれる住民の方々とも文化財を保護していくために事前の調整と協力を要請されてきましたが、全く考慮頂けていないのが現状であります。

開発地内に今も残る三体の磐座（イワクラ）についても、元の所有者（夙川短期大学）は、越木岩神社の要望に応じて、その文化・歴史・宗教的価値を認め、磐座を保全できるように各棟を建設して頂いていましたが、この度の計画では破壊されるようです。越木岩神社から北山にかけては、奈良県の大神神社が鎮座する三輪山と同様に古代史研究において重要な地域であり、開発地内に鎮座する三体の磐座のもつ文化・歴史・宗教的資産価値は高く、破壊してしまう代償は計り知れなく大きなものと思われそうですが、全く配慮を頂けないようです。

自然・歴史・文化的な資産の保護等の観点から、以下の項目を嘆願致します。

### 嘆願内容

1. 大規模開発による越木岩神社社叢林への影響の調査(予測を含む)を行い、その結果と対策の開示を求めます。
2. 貴重な古代祭祀遺産である磐座(イワクラ)について事前に調査を行い、その結果の開示を求めます。
3. 文化財としても貴重な資産である社叢林は、西宮市が重要とする生物多様性の保全の観点からも保全すべき対象です。また磐座(イワクラ)自体は破壊されてしまう計画です。文化・歴史・宗教的に貴重な資産を失ってしまう前に、社叢林及び磐座の維持・保護・保全に向けての指導的な要請、またその対応を行っていただくことを求めます。
4. その他に予想される懸念事項について適切な指導・対策を求めます。

以上

嘆願者氏名	住 所

\*お手数ですが、下記宛にご署名の原本を郵送して下さい。(コピーやFAXは不可)

\*ご署名の欄には5名全員を書き込まれていなくても結構です。

\*いただいたご署名は嘆願書の提出以外の目的では使用致しません。

\*勝手ながら第一次締切を5月14日(木)、最終締切は5月31日(日)とさせていただきますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

郵送先：越木岩神社 〒662-0092 兵庫県西宮市甕岩町5-4 TEL0798-71-8375 FAX0798-72-9006